

シャネルが名付け、ゴダールが崇め、ゲンスブールが囁いた
革命のミューズとして、ヌーヴェル・ヴァーグのアイコンになった女優の伝説的な人生と映画たち

アンナ・カレーナ

君はおぼえているかい

6月13日（土）公開初日正式決定！（今年限り特別上映）

& 『気狂いピエロ』（日本最終上映）『女と男のいる舗道』『女は女である』も同時上映！

新型コロナウイルスにより休館中だった新宿 K's cinema 再開後の皮切り公開となる本作。

アンナ・カレーナ 80 歳、ジャン＝リュック・ゴダール 90 歳を寿ぐはずだった 2020 年を目前にして昨年の 12 月 14 日アンナはパリで逝去。40 年にわたるパートナーだったデニス・ベリー監督が万感の思いを込めて作り上げた本作は、挿入画像の権利関係上、日本公開はできない作品でしたが、アンナ追悼のため、今年限りの上映が認められました。

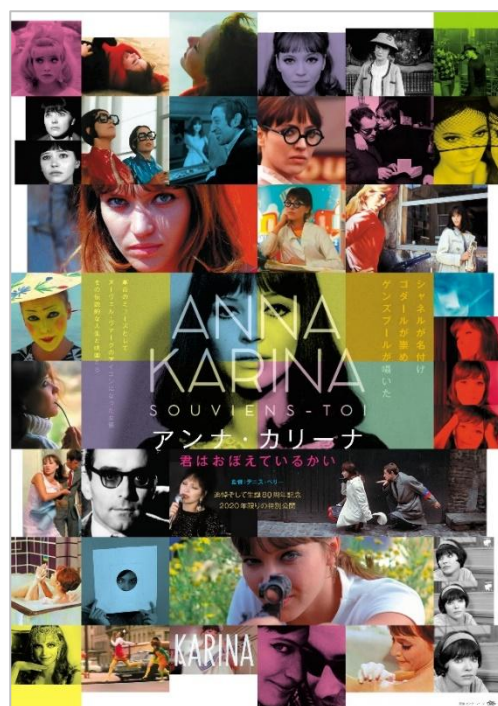
アンナとゴダールという映画史上の伝説的なカップルが作り上げた、ヌーヴェルヴァーグを代表する珠玉の 3 本『気狂いピエロ』『女と男のいる舗道』『女は女である』も同時上映決定！

『気狂いピエロ』は、2018 年 6 月 6 日に亡くなった字幕翻訳家寺尾次郎氏が「25 年は無理としてもせめて 10 年くらい」は定訳になってほしいと願いをこめた渾身の最新字幕版。寺尾氏の三回忌に合わせた上映であり、権利の関係でしばらくはこれが『気狂いピエロ』日本最終上映の機会となります。

本作の上映は、フランスの永遠のファッションアイコンとして、またその人生が今なお大きな影響を与えるアンナ・カレーナと、代表作である『気狂いピエロ』『女は女である』を字幕翻訳した寺尾次郎氏三回忌（6月6日）追悼上映でもあります。

↓

本情報を、ぜひご紹介頂けると嬉しいです。



★K's cinema の上映日程

『アンナ・カレーナ 君はおぼえているかい』 6月13日より7月10日まで

『気狂いピエロ』 6月13日より19日まで

『女と男のいる舗道』『女は女である』6月20日より26日まで日替わり

監督：デニス・ベリー

2017年/フランス/55分/日本語字幕：芳野まい

© Les Films du Sillage – ARTE France – Ina 2017

配給：オンリー・ハーツ

6月13日(土)より新宿 K's cinema 他にて全国順次公開

●本リリースに関するお問い合わせ 配給 オンリー・ハーツ 遊佐奈美子 yusa@onlyhearts.co.jp 03-3234-5105

宣伝 山形里香 rinko983@gmail.com 080-5054-0073